

# (4) 納期限延長に係るリアルタイム口座対応<3>



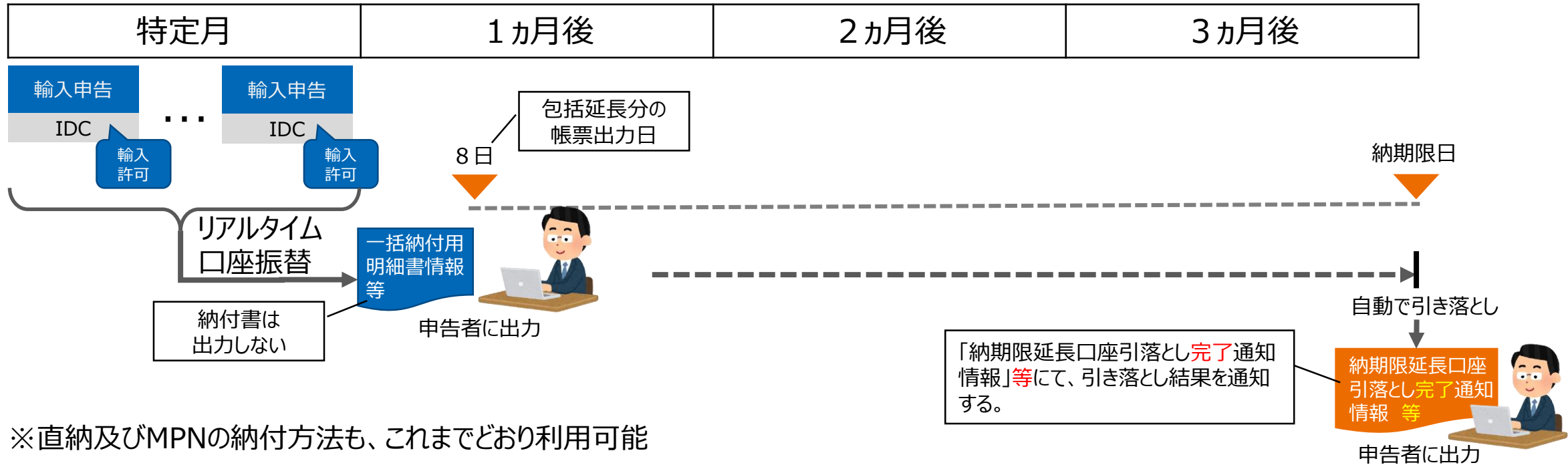
2023年11月22日  
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

区分	概要
1. 検討項目	納期限延長に係るリアルタイム口座対応
2. 変更要望	関税等の納期限延長制度（個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長）を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とし、事務効率化を図る。
3. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>① 納期限延長を利用した輸入申告等について、申告項目入力時（「輸入申告事項登録（IDA）」業務等の実施時）に納付方法としてリアルタイム口座振替を選択して申告した場合は、納期限延長の納期限日にあらかじめ登録した口座から自動で引き落としを実施する。</li><li>② リアルタイム口座振替の納付方法は申告後も選択可能（例えば、申告時は直納を選択したものの、申告後にリアルタイム口座振替に変更したい場合）とする。</li><li>③ 口座振替は納期限日（自動引き落とし日）を待たずに、任意のタイミングで実施することを可能とする。</li><li>④ 自動引き落とし時に残高不足でエラーとなった場合は、残高不足解消後、再度、引き落としを実施するか、納付方法を直納又はMPNに変更して納付を行う。</li></ul>

## 変更概要①

- 納期限延長制度（個別納期限延長、包括納期限延長、特例納期限延長）を利用した輸入申告等について、新たにリアルタイム口座振替による納付方法を追加する。
- 申告項目入力時（「輸入申告事項登録（IDA）」業務等の実施時）に納付方法としてリアルタイム口座振替を選択して申告した場合に、あらかじめ登録した口座から自動で引き落としを実施する。
- 自動で引き落としを行う時期は、利用する納期限延長制度毎の「納期限日」とする。また、午前10時から順次引き落としを行う。

### （例1）包括納期限延長を利用した場合

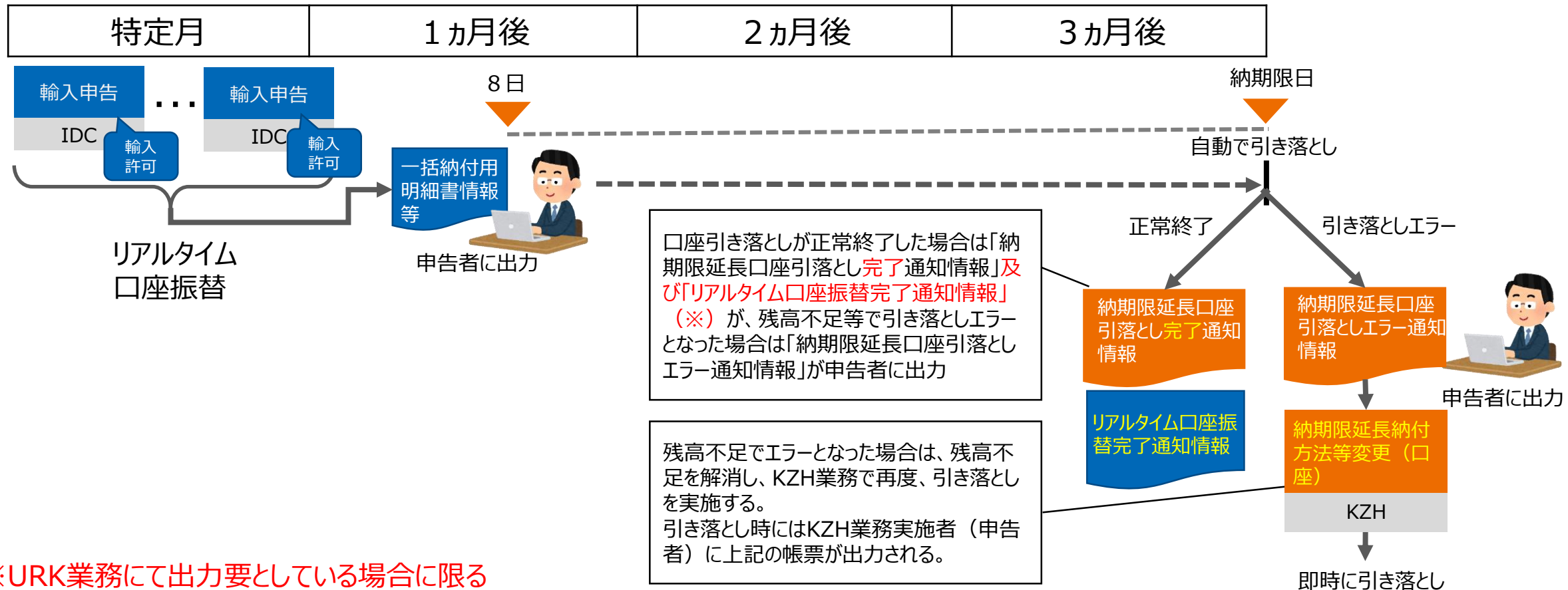


※直納及びMPNの納付方法も、これまでどおり利用可能

### 口座引き落とし時に出力する帳票について

リアルタイム口座振替による口座引き落とし時、申告者に帳票を出力する。帳票は、正常終了した場合と口座残高不足等でエラーになった場合で、別の帳票にして（出力情報コードを分けて）出力する。なお、正常終了した場合は「リアルタイム口座振替完了通知情報」を併せて出力する（※）。また、出力形式はEXC型とする。

#### (例) 包括納期限延長を利用した場合



※URK業務にて出力要としている場合に限る

## 口座引き落とし時に出力する新規帳票のイメージ

第19回合同WG資料【変更】

(正常終了時)

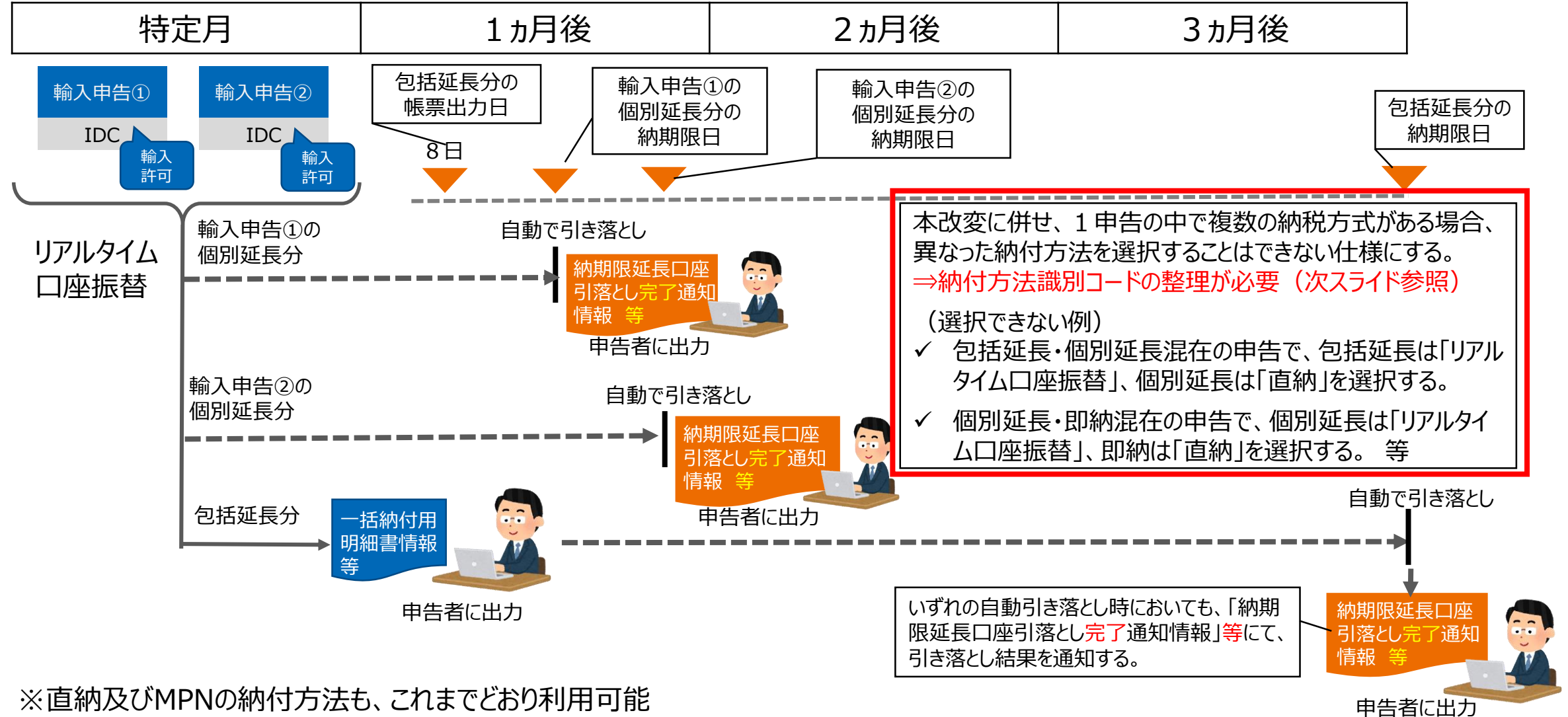
納期限延長口座引落とし完了通知情報	
一括納付書番号 または申告番号	XXX XXXX XX1E
口座番号	XXXXXXXXXX1XXXE
輸入者コード	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXE
輸入者名	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXX5 XXXXXXXXXX6XXXXXXXXXXE
申告者コード	XXXXE
申告者名	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXXX2XXXXXXXXXX3XXXXXXXXXX4XXXXXXXXXXE
受入科目コード	X
引落とし金額	¥12,345,678,901 ( 本税額 ¥12,345,678,901 延滞税額 ¥12,345,678,901 )
引落とし日	yyyy/MM/dd
納期限日	yyyy/MM/dd

(引き落としエラー時)

納期限延長口座引落としエラー通知情報	
一括納付書番号 または申告番号	XXX XXXX XX1E
〔「口座番号」～「受入科目コード」までの項目は正常終了時と同じ〕	
引落とし金額	¥12,345,678,901 ( 本税額 ¥12,345,678,901 延滞税額 ¥12,345,678,901 ) ※延滞税額は下記引落としエラー日時点での算出額です。
引落としエラー日	yyyy/MM/dd
納期限日	yyyy/MM/dd
処理結果識別	XE
「処理結果識別」出力コードは以下のとおり。	
NF : 該当口座番号がシステムに存在しないため引落とし出来ない ST : 残高不足で引落とし出来ない 入金額は入金後ただちに反映されます。金額反映後の引落としには 「納期限延長納付方法等変更(口座)」業務の実施が必要です。 A△ : サービス時間外 B△ : 当該収納機関利用不可 C△ : 当該口座利用不可 D△ : 引落とし済み E△ : 要求電文受付不可(受付制限中) F△ : 金融機関へ問い合わせ G△ : 金額桁数オーバー H△ : 要求電文エラー I△ : システムエラー J△ : 内部電文不正の為、金融機関へのデータ送信不可 K△ : 金融機関向け電文抑止中の為、データ送信不可 L△ : 金融機関向け電文送信失敗(N003) M△ : NACCSサーバが送信不可状態 N△ : 上記、J△、K△、L△、M△以外の内部システムエラー	
※各コードの詳細については、NACCSセンターへお問い合わせください。	

## (例) 包括納期限延長と個別納期限延長を利用した場合

(関税、消費税及び地方消費税に包括納期限延長、酒税に個別納期限延長を利用する場合等)



※直納及びMPNの納付方法も、これまでどおり利用可能

### 納付方法識別コードの追加及び削除について

1 申告の中で複数の納税方式がある場合、異なった納付方法を選択できない仕様にするため、申告時に入力する納付方法識別コードを以下のとおり整理する。

現行	
コード	納付方法
スペース	直納
R	リアルタイム口座
	リアルタイム口座(即納科目)/直納(納期限延長科目)
M	MPN
C	リアルタイム口座(即納科目)/MPN(納期限延長科目)
X (※)	直納
Y (※)	リアルタイム口座
	リアルタイム口座(即納科目)/直納(納期限延長科目)
W (※)	MPN
Z (※)	リアルタイム口座(即納科目)/MPN(納期限延長科目)

即納・納期限延長混在で納付方法が異なる場合のみ使用するコード（「C」及び「Z」）は、使用不可とする

次期	
コード	納付方法
スペース	直納
R	リアルタイム口座
M	MPN
X (※)	直納
Y (※)	リアルタイム口座
W (※)	MPN
F(仮)(※)	リアルタイム口座
T(仮)(※)	リアルタイム口座

- 議題「リアルタイム口座振替方式に関する機能追加（特例申告対応）」にて追加予定のコード
- 「F」及び「T」のほか、現行システムにおけるプログラム変更でもコードを追加予定

(※) 特例申告等（申告等種別コード：T、V、J、P、R）の場合のみ入力可能。該当のコードを利用した申告は一括納付対象外となる。

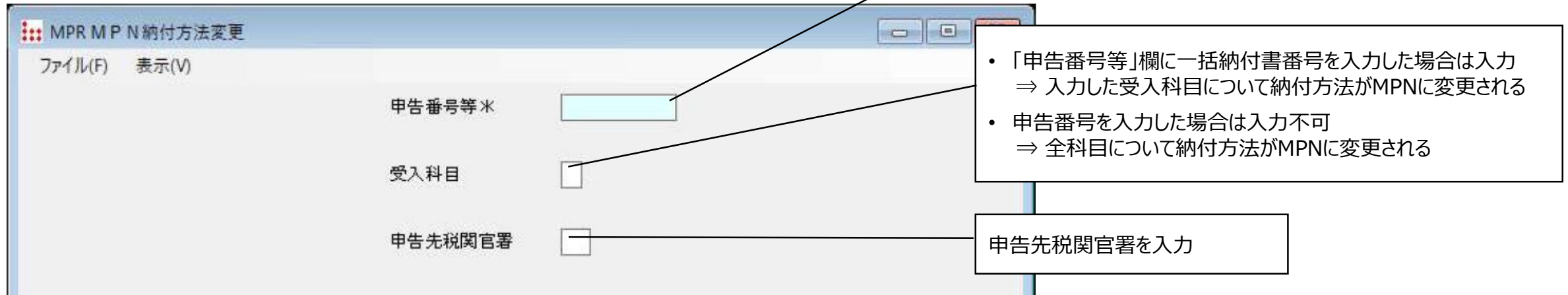
### 変更概要④

納期限日（自動引き落とし日）に口座残高不足で引き落としが完了しなかった場合、システムでは納付方法を変更せず、納付書も出力しない仕様とする。後続処理は以下の方法により行う。

- 残高不足を解消し、「納期限延長納付方法等変更（口座）（KZH）」業務にて再度、引き落としを実施する。
- 納付方法を口座から直納又はMPNに変更し、納付を行う。直納への変更は「納付書再出力（RNF）」業務、MPNへの変更は「MPN納付方法変更（MPR）」業務にて行う。なお、当該業務による納付方法の変更は一括納付書等（※）の出力日から実施可能とする。

※ 個別延長の場合は輸入許可日から実施可能とする。

### MPR業務の入力画面イメージ



The screenshot shows a software window titled "MPR M P N 納付方法変更". It contains three input fields: "申告番号等\*", "受入科目", and "申告先税関官署". Callout boxes provide instructions for each field:

- For "申告番号等\*": 輸入申告等の申告番号又は一括納付書番号を入力
- For "受入科目":
  - 「申告番号等」欄に一括納付書番号を入力した場合は入力 ⇒ 入力した受入科目について納付方法がMPNに変更される
  - 申告番号を入力した場合は入力不可 ⇒ 全科目について納付方法がMPNに変更される
- For "申告先税関官署": 申告先税関官署を入力

（注）納付方法を直納からMPNに変更する場合は、引き続き税関への依頼が必要（当該業務では実施不可）